



◀ ホームステイ中の写真は町ホームページでご覧いただけます。



お別れ夕食会 最後のひとときを全員で!



飯塚信一さん
家族(金井)

最初は言葉も文化も違い戸惑いましたが、互いの笑顔や小さな思いやりが少しずつ心の距離を縮めてくれました。「生きた学び」は我が子に成長をもたらし、今後の人生に大きな影響を与えてくれると感じています。心通わせた日々は、私たち家族にとってかけがえのない宝物です。この貴重な体験を与えてくれた全ての方々に心より感謝申し上げます。



田村守さん
家族(国峰)

初めは家族全員楽しさ半分、不安半分でした。子どもたちは1日もたたないうちに打ち解け、翻訳アプリを駆使しながら将来のことや家族のことなど、たくさん話ができたようです。親子共々翻訳アプリでもうまく伝わらないこともあり、伝え方の難しさ、生活習慣や文化、宗教の違いなど、短期間にたくさんのことを学べる機会となりました。ありがとうございました。



橋本幸弥さん
家族(小幡)

日本の良さを伝えたいと思い今回受け入れを決意しました。町内を散策したり、買い物に出かけたり、一緒にゲームをしたりして過ごしました。伝えたいことが伝わらないときにはジェスチャーで乗り越えました。2日過ぎた頃には家に一緒にいることが自然で、彼らが帰った後はどこか寂しさを感じました。この貴重な経験は、私達に一歩を踏み出す勇気を与えてくれたと思います。

ようこそ！第12次チェルタルド市青年使節団

■ 問い合わせ 企画課企画係 ☎ 74-3133

第12次チェルタルド市青年使節団が7月31日から8月5日まで来町しました。滞在中はさまざまな日本文化を体験し、さらなる友好の輪を広げました。

団員14人の受け入れにご協力いただいたホストファミリーの皆さんの感想を紹介します。



チェルタルド市副市長と
かんらちゃんも
にっこり!



高橋裕さん
家族(小幡)

お互い事前に何となくそれぞれの国のイメージを描いていたと思いますが、いざひとつ屋根の下で同じ時間を過ごしてみて、ほんの些細な違いに気付いて笑い合ったりできたのがホームステイならではのなあと感じました。今回2人を受け入れて、イタリアに行かずともイタリアの雰囲気を感じることができとても楽しかったです。ありがとうございました。



齊藤健彦さん
家族(福島)

2回目ということもあり、前回よりも安心して受け入れができました。子どもたちはイタリアからの来訪を心待ちにしており、すぐに打ち解けていました。言葉の壁はスマホの翻訳機能に助けられ、アニメやサッカーなどの共通の話題で大いに盛り上がりました。家族全員にとって良い刺激となり、親子ともに貴重な経験と良い思い出ができました。



倉林昭二さん
家族(小川)

伊国の風が吹き抜けていきました。14歳仲良し男子2人組。やんちゃ盛りかと気構えましたがチャンバラごっこで盛り上がったと思えば家族の一員として手を添えてくれる優しい紳士達でした。私達のあいさつをすぐに覚えてくれて何かにつけて「ありがとう」と。我が家に愛をおいていきました。甘楽町と、応援に駆けつけてくれたみんなに家族一同大感謝しております。



金井司さん
家族(金井)

最初は言葉の壁を感じ、食文化や日常生活習慣の違いにも戸惑いましたが、共に寝起きしているうちにそういったことも乗り越え、本当の家族のようになっていきました。帰る頃にはとても寂しく、涙が出そうでした。このような貴重な経験ができたことを、役場や関係者の方々に心から感謝申し上げます。今後多くの方に経験していただきたい事業だと感じました。